

令和 3年度予算見積調書

課室名：地域包括ケア課
 担当名：認知症・虐待防止担当
 内線：3251 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B45	共生のための「チームオレンジ」構築支援事業		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	在宅高齢者支援事業費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	介護保険法第5条3項、認知症総合戦略推進事業実施要項			宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保	SDGsゴール	3, 17
	令和 7年度					分野施策	010205 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット	3-c, 17-17
1 事業概要			5 事業説明						
認知症の人に対する地域の支援を広げるため、「チームオレンジ」を構築するとともに、認知症本人による「希望大使」を設置し、本人発信を支援する。 (1) 「チームオレンジ」構築支援事業 8,656千円 (2) 認知症本人大使「埼玉県希望大使」任命事業 220千円			(1) 事業内容 ア 「チームオレンジ」構築支援事業 (ア) オレンジチューター派遣事業 5,550千円 地域において認知症の人やその家族と認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の構築を行う市町村を直接支援する専門職（オレンジチューター）を設置、派遣する。 (イ) チーム関係者向けセミナーの開催 1,911千円 「チームオレンジ」の設置について市町村担当者等向けの説明会を開催する。 (ウ) ステップアップ講座標準テキストの作成 1,195千円 認知症サポーターが実際の支援を開始する前に受講する、市町村研修の標準テキストを作成し、支援の向上を図る。 イ 認知症本人大使「埼玉県希望大使」任命事業 220千円 認知症本人の発信支援を行うため、「埼玉県希望大使」を設置する。 (2) 事業計画 ア 「オレンジチューター」を配置（1名） 「チームオレンジ」の構築を支援するために各市町村に配置する、コーディネーター向けの研修開催（2回）、個別支援 イ 「埼玉県希望大使」を任命（3名の予定） 県内各地で開催される認知症サポーター養成講座等で講話などの普及啓発活動を行う。 (3) 事業効果 ア 地域で認知症の人と家族を支える体制を整備する。 イ 認知症本人の普及啓発活動により、認知症に対しての理解が深まる。						
2 事業主体及び負担区分									
(1) (国10/10、県0) (2) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比	
決定額	8,876	8,656					220	8,876	
前年額	0						0		